

I

產業振興

# 1 工業の振興

ゴール	 8 産業の振興 経済成長も	 9 災害に強い産業社会 創出もつくり	 17 デジタル社会 構築も進めよう
ターゲット	8.1, 8.2, 8.3	9.2, 9.3, 9.4	17.17

## 現状と課題

工業の更なる発展に向けて、町内企業が安定的な経営基盤を維持していくとともに、更に成長していけるよう、町の制度融資による資金調達や設備導入への支援を行うほか、国や県の支援制度の利用を促進しています。

今後も本町の工業が継続的に発展していくためには、企業による円滑な資金繰りや経営の効率化・高度化が図られるとともに、時代の変化に対応した新たなビジネスモデルが構築されていくことが重要です。

引き続き、町内企業に対し、制度融資の利用や設備導入を促進していくほか、官民ともにDX（デジタル・トランスフォーメーション）【※1】を積極的に推進していく中で、関係機関等とも連携しながら新たな支援策についても検討していく必要があります。

## 施策の基本方針

社会経済情勢を踏まえた支援を行っていくために、企業からの更なる情報収集に努めるとともに、各種融資・支援制度の周知や利用促進を図っていきます。

また、企業が時代の変化に対応しながら経営力や競争力を強化していけるよう、関係機関等とも連携しながら、DXの推進や新規事業分野への展開などを支援していきます。

## 主な取り組み内容

- 企業訪問などを通じた各種支援制度の周知及び活用促進
- 制度融資の継続実施
- 企業による生産能力の拡大や合理化・省力化などに向けた設備導入に対する支援
- 中小企業の競争力や経営基盤の強化に対する支援
- 関係機関等との連携による経営等に関する相談の実施
- 県との連携による新技術や新製品開発に対する支援
- 工業振興に係る新たなニーズの把握と支援策の調査研究

## KGI（重要目標達成指標）

	2020年度 基準値	2025年度 目標値
工業の振興について満足している人の割合	20.4%	21.5%

## KPI（重要業績評価指標）

	2020年度 基準値	2025年度 目標値
生産能力の拡大等に向けた設備導入に対する支援件数	21件	26件
災害対応力向上に向けた取り組みに対する支援件数	—	15件
新技術や新製品開発に対する支援件数	0件	2件

※1 DX…ICT（情報通信技術）の浸透が人々の生活をあらゆる面で良い方向に変化させるという考え方のことです。

## 2 商業の振興

ゴール	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と地域資源の 連携で持続可能な 成長をつなぐ	17 パートナシップで 目標を達成しよう
ターゲット	8.1, 8.3	9.2	17.17

### 現状と課題

商業の振興については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている店舗等への営業継続に向けた支援をしているほか、店舗のリニューアルや空き店舗の有効活用を促進し、商店街の魅力を高めていくことで、商業全体の活性化を図っています。

新型コロナウイルス感染症の影響が残っていくことへの懸念のほか、店舗の老朽化や後継者不足などの問題が深刻化している中、これまでの取り組みに加え、今後のニーズを踏まえた新たな支援策についても検討しながら本町における商業活動を支えていく必要があります。

### 施策の基本方針

商業全体の活性化を図るため、魅力ある商店街の形成に向け、引き続き、空き店舗の有効活用のほか、商店街の環境整備に向けた活動に対して支援をしていきます。

また、関係機関等と連携し、事業者の経営改善に向けた取り組みを促進するとともに、多様なニーズに対応した支援策を検討していきます。

### 主な取り組み内容

- 空き店舗での創業や既存店舗の改装に対する支援
- 商店街などの街路灯の電気料金や改修工事費用に対する補助
- 関係機関等との連携による経営等に関する相談の実施
- 商工会などが行う商業振興活動に対する支援
- 町内事業者の活性化に向けた支援
- 商業振興に係る新たなニーズの把握と支援策の調査研究





### K G I（重要目標達成指標）

	2020年度 基準値	2025年度 目標値
商業の振興について満足している人の割合	26.5%	33.4%

### K P I（重要業績評価指標）

	2020年度 基準値	2025年度 目標値
空き店舗の活用に対する支援件数	－	4件
既存店舗の改装に対する支援件数	2件	8件
事業者の経営に関する支援件数	1,853件	2,040件

## 3 農業の振興

ゴール	 2 食料と栄養 ゼロ	 8 働きがいも 経済成長も	 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	 17 パートナシップで 目標を達成しよう
ターゲット	2.3, 2.4	8.1, 8.2 8.3, 8.6	9.1	17.17

### 現状と課題

農業の振興を図っていくため、農地中間管理事業【※2】を推進し、認定農業者への農地集積や新規就農者の農地確保を行うとともに、農業協同組合や農業指導センターと連携しながら農業経営相談や新規就農相談を行うことで、認定農業者や新規就農者の育成・確保に努めています。また、生産基盤である農業用排水路等の整備や野菜等の高収益作物との複合経営の推進、水田の畑地化の調査を通じて、安定的な農業経営の確立に努めています。

農業従事者の減少や高齢化が進み、農地中間管理事業の貸出希望農地が増加している中で、マッチングに至らないケースも増加していることから、認定農業者による規模拡大や新規就農者による農地利用につなげるため、引き続き経営相談や就農相談を行い、次代の農業の担い手を育成・確保していく必要があります。併せて、更なる生産基盤の整備や収益性の高い農業経営の推進に加え、将来にわたって効率的に農地を利用していくために、「人・農地プラン【※3】」を踏まえた地域の合意形成を図っていくことも必要です。

### 施策の基本方針

認定農業者や新規就農者の確保に向けて、農地中間管理事業の推進による農用地の利用集積を推進するとともに、農業経営相談や新規就農相談を行っていくほか、農業用排水路の補修・整備や農地の区画拡大など生産基盤の整備を行っていきます。

また、高収益作物の生産やスマート農業【※4】の導入推進に加え、地域の話し合いに基づく効率的な農地利用への支援や、主食用米から加工用米の生産への転換など農業者の自主的な取り組みを支援することにより、安定した農業経営の確立を促進します。

### 主な取り組み内容

- 農地中間管理事業の推進
- 関係機関等との連携による就農希望者等への情報提供
- 農業用排水路・農道などの整備
- 農地の区画拡大など農業の効率化に向けた支援
- 国・県と連携した高収益作物の調査及びスマート農業に関する支援
- 「人・農地プラン」を踏まえた地域の話し合いの支援
- 加工用米の生産に対する補助

※2 農地中間管理事業…農地の担い手の農地集積・集約化を推進し、農地の有効利用の継続・農業経営の効率化を図る事業のことです。

※3 人・農地プラン…農業者が話し合いに基づき、地域農業における中心経営体、地域における農業の在り方などを明確化し、話し合いの結果を町が公表するものです。

※4 スマート農業…ロボット技術や情報通信技術を活用して、省力化、効率化を図る農業のことです。

## KGI（重要目標達成指標）

	2020年度 基準値	2025年度 目標値
農業の振興について満足している人の割合	17.1%	18.0%

## KPI（重要業績評価指標）

	2020年度 基準値	2025年度 目標値
担い手への農地利用集積率	34.4%	71.0%
認定新規就農者数（累計）	1人	2人
地域農業についての検討会の開催数	－	3回

## 4 地域経済の活性化

ゴール	8 雇用創出 促進策の実施	9 産業と地域経済の 連携強化	17 ロボット・AI の活用促進
ターゲット	8.1, 8.3	9.2	17.17

### 現状と課題

地域経済の更なる活性化に向けて、各種奨励金制度を通じて企業による町民の雇用促進に努めているほか、町内への新たな企業の進出や既存の企業による事業拡張を促進しています。さらに、企業情報交換会を開催することで、企業間のビジネスマッチングへの支援も行っています。

今後も企業の町として発展していくためには、既存の企業が本町での操業を継続しながら更に成長していくとともに、新たに本町で操業する企業が増えていくことに加え、町民の雇用機会が十分に確保されていることが重要です。

引き続き、ビジネスマッチング等に対する支援や各種奨励金の利用促進に加え、企業の誘致や町内での事業拡張に向けた取り組みを強化していくため、新たな工業地の確保など企業が進出しやすい環境を整備していく必要があります。

### 施策の基本方針

町内企業が継続的に発展するため、企業訪問を通じて情報収集や各種奨励金の利用を促進するほか、企業間のビジネスマッチングに向けた情報交換の機会を提供していきます。

また、新たな起業を促進するため、スモールビジネス【※5】の創業などを支援するほか、町民の雇用機会の創出・拡大につなげていくため、社会情勢の変化も踏まえた企業の動向を把握し、サテライトオフィス【※6】の設置に向けた働きかけを行うなど、本町でより多くの企業活動が展開されるよう取り組んでいくとともに、関係機関や近隣自治体とも連携しながら新たな工業地の確保について調査研究し、企業誘致をより一層推進していきます。

### 主な取り組み内容

- 企業訪問などを通じた各種支援制度の周知及び活用促進
- 移転などによる町内産業の空洞化防止に向けた情報収集
- 企業間の「情報交換会」の定期的な開催
- 企業に対する町民の雇用の促進
- 関係機関等と連携した支援制度のPR
- 関係機関等と連携した起業に関する支援体制の充実
- 企業誘致に向けた新たなニーズの把握と工業地の確保に係る調査研究

### KGI（重要目標達成指標）

	2020年度 基準値	2025年度 目標値
地域経済の活性化について満足している人の割合	38.3%	48.9%

### KPI（重要業績評価指標）

	2020年度 基準値	2025年度 目標値
個別に情報交換を行った企業数	42社	70社
ビジネスマッチングの機会を提供した回数	－	2回
認定創業支援等事業計画に基づく創業支援件数	14件	14件

※5 スモールビジネス…少人数で行う、小規模なビジネスのことをいいます。

※6 サテライトオフィス…企業または団体の本拠から離れた所に設置されたオフィスのことをいいます。

## 5 勤労者福祉の推進

ゴール	 4 質の高い教育をみんなに	 5 ジェンダー平等を達成しよう	 8 働きがい、経済成長も	 10 人や国の不平等をなくそう	 17 パートナーシップで目標を達成しよう
ターゲット	4.4	5.c	8.5, 8.6, 8.8	10.1	17.17

### 現状と課題

すべての働く人々が意欲にあふれ、能力を存分に発揮していけるよう、町では安定した雇用の確保に向けた取り組みを行っています。

事業者に対しては、雇用形態の多様化に対応した適正な労働条件についての啓発などに努めるとともに、非正規雇用から正規雇用への転換や女性の雇用環境の改善に向けた支援のほか、雇用を維持するための一時的な雇用調整に対する支援などを行っています。

また、失業者や就業希望者はもとより、就業者も対象として、関係機関等と連携しながら学習機会の提供や職業能力の開発支援に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症の影響により雇用環境が不安定な中、引き続き、働く人の意欲向上や能力開発に取り組むとともに誰もが安心して働くことができる環境を整備することが重要です。

安定した雇用に向けた取り組みを行う企業に対して継続した支援を行うとともに、関係機関等との連携の下、雇用状況を的確に把握し、就業者や失業者などのニーズに沿った支援策を講じることが必要です。

### 施策の基本方針

ハローワークをはじめとした関係機関等と連携し、勤労者の能力開発に関する取り組みへの支援や事業者の雇用維持のための支援制度の利用促進を図るとともに、社会情勢や雇用環境の的確な把握に努め、ニーズに沿った支援策について調査研究していきます。

また、勤労者の福祉に資する施設である「勤労複合福祉施設 いずみの杜」については、利用者の利便性に配慮した運営をしていきます。

### 主な取り組み内容

- 関係機関等と連携した勤労者の職業能力開発などに対する支援
- 雇用の安定に向け取り組む企業に対する支援
- 女性活躍推進に向け取り組む事業者への支援
- 雇用状況に応じた新たな支援策の調査研究
- 利用者ニーズを踏まえた「いずみの杜」の運営

### KGI（重要目標達成指標）

	2020年度 基準値	2025年度 目標値
勤労者福祉の推進について満足している人の割合	20.4%	24.5%

### KPI（重要業績評価指標）

	2020年度 基準値	2025年度 目標値
町内企業に新たに正規雇用された町民の人数	45人	50人
雇用環境が改善された女性の人数	1人	10人
いずみの杜職員の接遇に対する満足度	91.6%	100.0%

## 6 観光の振興

ゴール	8 観光客の 増加促進	9 観光と地域振興の 連携促進	17 観光振興 の推進
ターゲット	8.1, 8.9	9.2	17.17

### 現状と課題

商工会や観光協会など関係団体と連携し、本町の夏の風物詩である「大泉まつり」のほか、国際色豊かな町という特色を生かしたイベントなどを開催するとともに、SNS【※7】等を活用し町の魅力発信を行うことで、町の知名度向上や「にぎわい」の創出を図っています。

また、町内の高等学校及び事業者と連携し、特産品の開発を行うなど、町の新たな観光資源の発掘を行っています。

社会情勢が変化している中、これまで以上に町の「にぎわい」を創出していくためには、観光面においても町の特色を生かしていくことで、より多くの人に本町に関心を持ってもらうとともに、実際に町の雰囲気を感じ取ってもらえる機会を設けることが重要です。

引き続き本町の魅力向上につながる新たな観光資源の開発などを推進するとともに、ICT【※8】を活用した情報発信や、各種イベントの開催に向けて取り組んでいく必要があります。

### 施策の基本方針

町の魅力について、SNSをはじめとした各種情報発信手段を活用しながら広くPRをしていくとともに、新たな情報発信手段についても調査研究を進めます。

また、関係団体や町内の高等学校などと連携をしながら、国際色豊かな町という特色を生かした観光資源の開発のほか、新しい生活様式に対応した観光イベントの開催など、新たな観光スタイルについて調査研究していきます。

### 主な取り組み内容

- マスメディアやSNSなどによる観光情報の発信
- 関係団体などの活動支援及び連携
- 県や県内自治体と連携した観光イベントへの参画
- 観光振興に係る新たなニーズの把握と新たな観光スタイルの調査研究

### KGI（重要目標達成指標）

	2020年度 基準値	2025年度 目標値
観光の振興について満足している人の割合	21.1%	22.1%

### KPI（重要業績評価指標）

	2020年度 基準値	2025年度 目標値
群馬県等が主催する観光イベントへの参加回数	－	4回
SNS等による観光情報の発信回数	464回	470回
メディアによる観光に関する取材等の件数	65回	85回

※7 SNS…Social Networking Serviceの略称で、人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のウェブサイトのことです。

※8 ICT…情報通信技術のことで、インターネットなどを活用した産業やサービスなど全般のことをいいます。